

# 普及だより いわき

サンシャインいわき!  
笑顔あふれる  
農林業をめざして!!

2020年 9月発行 **No.155**

編集・発行

福島県いわき農林事務所 農業振興普及部

住所 〒970-8026 いわき市平字梅本 15 番地

電話 農業振興課 (0246) 24-6160

電話 地域農業推進課 (0246) 24-6161

電話 経営支援課 (0246) 24-6162

F A X (0246) 24-6196

## 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者への支援策

国、県では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている農業者に対し、様々な支援策を講じていますが、主なものを紹介します。

### 【持続化給付金】

新型コロナ感染症拡大により、特に大きな影響を受ける事業者に対して、事業の継続を下支えし、再起の糧としての事業全般に広く使える給付金を支給

給付対象者	・農林水産業、食品関連事業を含めた個人事業者や法人 ・農事組合法人、協同組合などの会社以外の法人 ・2020年1月以降、新型コロナウイルスの影響により、事業収入が大きく減少している事業者 ※税務申告をした農業者
給付の要件	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、今年の内いずれかの月の事業収入が、申告した年間事業収入を12で割った額(平均月収)の50%以下であること
給付額	法人:200万円以内 個人事業者等:100万円以内

詳細は以下を  
御覧ください

農林水産省



### 【主な農業者向け金融支援】

新型コロナウイルス感染症の影響により、経営の維持安定が困難な農業者を対象とした金融支援策を講じています。

資金名	農林漁業セーフティネット資金	スーパーL資金	農業近代化資金
貸付対象	認定農業者 主業農業者※ 認定新規就農者 ※農業所得が過半数を占めること	認定農業者	認定農業者 主業農業者※ 認定新規就農者 集落営農組織 など ※農業所得が過半数を占めること
資金用途	長期運転資金	施設資金 長期運転資金 (負債整理含む)	施設資金 長期運転資金
借入限度額	1,200万円 (特認) 簿記記帳を行っている場合 年間経営費等の12分の12 または粗収益の12分の12 に相当する額のいずれか 低い額	個人:3億円 (複数部門経営等は6億円)以内  法人:10億円 (民間金融機関との協調融資の 状況に応じ30億円)以内	個人:1,800万円  法人・団体:2億円 (農業参入法人は1億5千万円)
金利	当初5年間は、実質無利子		
償還期間(据置)	15年以内(3年以内)	25年以内(10年以内)	資金用途に応じて、7~20年以内 (2~7年以内)
担保・保証	実質無担保		実質無担保(農業信用基金協会の 保証を利用する場合) 当初5年間は保証料免除
融資機関	(株)日本政策金融公庫		農協 信連 農林中央金庫 銀行 信用金庫 信用組合

福島県  
農林企画課



いわき  
農林事務所



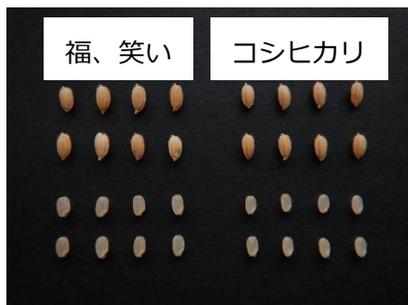
いわき  
市役所



## 県オリジナル水稲品種「福、笑い」で県産米のブランド化を目指そう！



出典：福島県農業総合センター



出典：福島県農業総合センター

本県オリジナル水稲新品種「福、笑い」（福島40号）は、食味評価はコシヒカリ並の良食味、粒が大きく柔らかい炊きあがり特徴であり、高価格帯の米を扱う百貨店等や高級米を常に購入する消費者からの高い評価を得ています。今後、本県産米全体のイメージと価格をけん引するトップブランド品種として、生産量限定での販売、栽培基準の作成と生産者登録制等による高品質・良食味で均質な生産の推進を図っていきます。

今年度は令和3年度以降の本格栽培開始を目指した先行栽培として、生育や収量、食味・品質基準の達成状況等を検証するため、いわき市内でも1箇所、実証試験栽培を開始しました。今後の本県産米のトップブランド米として大事に育てていきましょう！

## 「りんどう」が今年も開花！ 今年からは小川町と四倉町も出荷へ！！

いわき地域では、平成28年度に川前町の生産者5戸により生産部会が組織され、高品質なりんどう生産に向けて栽培が行われています。

令和元年度には、新たに平坦地域の小川町・四倉町の実産者各1戸が生産部会に加入し、りんどうの栽培を開始しました。

令和2年7月、栽培開始から1年の栽培管理を経て、小川町と四倉町でりんどうが初出荷を迎えました！ 生産部会のりんどうは、8月のお盆から9月の彼岸を中心に出荷されます。

青紫色が鮮やかなりんどうを栽培してみませんか？ りんどう栽培に興味のある方は農業振興普及部までぜひご相談ください。



## 三和地区でピーマン栽培が始まりました！

本年度より、三和地区において、中山間地域の園芸振興を目的としたピーマンの試験栽培が生産者8名のもと始まりました。

ピーマンは、高齢の方でも肉体的負担がなく栽培できる軽量品目であり、中山間地特有の夏期の涼やかな気象条件を生かすことで、高温障害によるロスを減らし、高収益が見込めることから選定されました。

生産者は初めてのピーマン栽培ということで、お互いの生育状況を確認し合い、意欲的に栽培指導会に参加するなど、精一杯栽培に取り組んでいます。

農業振興普及部としましても、中山間地域におけるモデル的な取組となるよう、安定出荷のための技術支援や仲間作りを支援していきます。





## 令和2年産米より、全量全袋検査からモニタリング検査(抽出検査)に変わります！

福島県では、令和2年産米より、避難指示等のあった一部地域を除いてモニタリング検査に移行します。

いわき市内産の米（食用として出荷・販売される米で飼料用米を除く）においても、旧市町村ごと（37旧市町村）に3点のモニタリングを実施し、基準値の超過がなければ、旧市町村ごとに出荷・販売が可能になります。それまでは、出荷・販売（無償譲渡を含む）を自粛くださるようお願いいたします。

ご自分の水田がある地域が出荷・販売可能かどうかの確認方法については、別途お知らせします。

## いわき市産のこれらの品目には出荷制限がかかっています！

農林水産物を収穫・販売・譲渡する際は、出荷制限品目になっていないか必ず確認しましょう。

現在のいわき市産の出荷制限品目等は表のとおりです。

また、販売する際は、「名称」「原産地（市町村名）」を必ず表示して、出荷制限品目でないことがわかるようにしましょう。商品一つ一つに表示できない場合は、直売所の店先等にまとめて掲示してもOKです。

いわき農林事務所では、春は山菜類、秋はきのこ類を中心に、直売所等で出荷制限品目が間違っ販売されていないか訪問調査（出荷管理状況調査）を行っています。

引き続きご協力をお願いします。

### いわき市産の出荷制限品目等

品目	制限
野生きのこ	出荷制限・摂取制限
原木なめこ（露地）	出荷制限
たけのこ	出荷制限
こしあぶら	出荷制限
ぜんまい	出荷制限
わらび（野生）	出荷制限
たらめ（野生）	出荷制限
さんしょう（野生）	出荷自粛（県）

### 販売時の表示例

名 称	ふき
原産地	いわき市産

## 「たい肥供給者リスト」からお好みのたい肥を選んで有効活用

いわき市内たい肥供給者リストは、27件のたい肥が畜種、地域、連絡先、運搬条件、成分値等が掲載されており、毎年更新しています。各支所やJA 営農経済センター等に配置されており、目的にあったたい肥を選んで利用しましょう。

たい肥の利用については、お気軽にお問い合わせください。

## 第1回いわき農業普及推進懇談会を開催しました

いわき農業普及懇談会は、農産物流通や財務等に精通した普及推進協力員や農業者団体・関係機関の代表が構成員になっています。

構成員の皆様に活動計画や取組状況を説明し、それぞれのお立場からご意見やご助言をいただきました。懇談会でのご提案を普及活動にいかしてまいります。

## いわき農林水産ニュース毎月情報発信中です！

毎月下旬発行の「いわき農林水産ニュース」では、いわき地方の農林水産業に関する取組や行事予定等を発信しています！ ぜひ御覧ください！

いわき農林水産ニュース 